

GRAシリーズらくらく施工の節水便器 (フレキホース仕様、サブライ管仕様)

施工時に必ずこの説明書に従って正しく工事をしてください。

施工説明書 (サイホン用・ネオボルテックス用)

■安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項をお使いになる方が製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示マークについて
読んだ使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

警告 この表示の標は「死または健康を脅かす可能性が想定される」内容です。
注意 この表示の標は「傷害を負う可能性または物的損害のみが生ずる可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の図記号で区分し、説明しています。

● してはいけない「禁止」の内容です。 ● してはいけない「水場禁止」の内容です。 ● 必ず実行していただく「強制」の内容です。

【凍結防止ヒーター付便器の場合】
● 水がかかったり、製品表面に結露が生じるような浴室などでは絶対に使用しない。湿気のため故障、感電、漏電の原因になります。

● 電源コードを無理な力（曲げ・折れ・ねじれ・引っ張り）で傷つけたり、加工を絶対おこなわない。感電、火災の原因になります。

● ヒーター用プラグの電源に、交流100Vを使用し、コンセントにガタつきのないことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む。交流200Vや普通電線を使用すると、火災や故障の原因になります。

注意
● 製品に衝撃を与えない。内部が破損してケガをしたり、漏水のため家財などを汚す原因になることがあります。

● フレキホース、サブライ管などの配管に無理な力を加えない。配管が破損して、漏水のため家財などを汚す原因になることがあります。

● 中水道（井戸水含む）や工業用水の水道に接続しない（上水道のみ）。衛生上のトラブルや故障の原因になることがあります。

● 止水栓を開けたままでは、ストレーナユニットを外さない。水が溢し出します。

● 施工後必ず作動確認し、配管に水漏れがないか確認する。施工に不備があると、漏水で家財などを汚す原因になります。

■水道工事について（水道工事は必ず水道工事店にご依頼ください。）

● 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。
● 水洗便器の施工に際しては、排水管への放流の場合、自治体の指定業者でないことをごまかせんでご注意ください。
● 使用水圧範囲は0.05MPa～0.74MPa（0.5～7.5kg/cm²）です。

■同梱部品

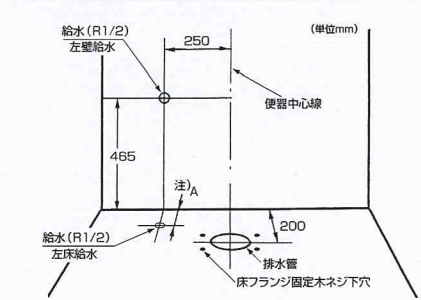
開梱後、同梱部品があるか確認してください。

名称 (略図)	数量	備考
便器本体	1個	
フランジキャップ	2個	
キャップ付床取付木ネジ	2個	
床フランジセット	1個	VU75・100、VP100ソケット取付金具セット
施工説明書	1枚	
タンク本体 (手洗付または手洗なし)	1セット	内部金具組付 (フレキホース仕様)
止水栓	1セット	ニップル(長さ75mm)ワン座 サブライ管(長さ400mm)ニップル(長さ100mm)ワン座 抜止ナット サブライ管(長さ400mm)ニップル(長さ450mm)ワン座 抜止ナット
ストレーナ	1個	サブライ管仕様のみ (フレキホース仕様はタンク本体に別付)
取扱い説明書	1冊	
ワンタッチペーパーホルダー (オプション)	1個	取付木ネジ

※品番がGRA、GTRAより始まる便器及びタンクセットには、ワンタッチペーパーホルダーは同梱されていません（オプション追加となります）。

1 便器の給水・排水管の位置決め

- 標準工事面を基準にして便器の据付位置を確認してください。
- 給排水管(VP・VU75またはVP・VU100)を下図の寸法図面位置に床面より立ち上げてください。
(塩ビ排水管の床仕上げ寸法は床仕上げ面と同一にしてください。)
- 続いて給水管を壁面または床面より取り出してください。
※器具取り付け前に給水管、排水管に異物が混入しないようにしてください。



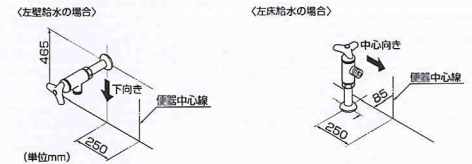
右給水の場合

- 給水位置は、便器中心線に対して左右対称になるように施工してください。
- サブライ管仕様タンクは、工場出荷時にボールタップを左側（左給水用）に組み付けています。ボールタップを取りはずし右側に取り付けてください。サイホン用は、補給水管がレバーハンドルに干渉しないように向きを調節してください。

注) 給水時の壁からの位置A寸法はタンク品番（仕様）により異なります。
タンク品番 GTRA33** (フレキホース仕様) は85mm
タンク品番 GTRA13**K (サブライ管仕様) は105mm

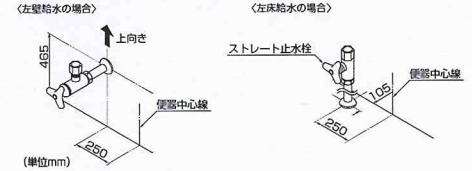
2 止水栓の接続

- フレキホース仕様の場合
● 給水管に止水栓を接続してください。
(ニップルにシールテープをまいて水漏れがないようにしてください。)
- 止水栓の接続口の向きを図のように調節してください。



サブライ管仕様の場合

- 給水管に止水栓を接続してください。
(ニップルにシールテープをまいて水漏れがないようにしてください。)
- 床給水の場合はストレート止水栓をご使用ください。

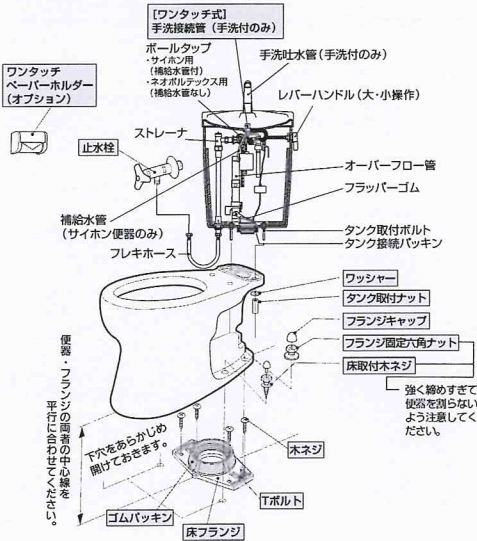


※壁内の配管中に異物が残っているとストレーナがつまり、ボールタップの吐水不良になるおそれがあります。必ず捨て水をこぼさず、異物を取り除いてください。

3 各部の名称

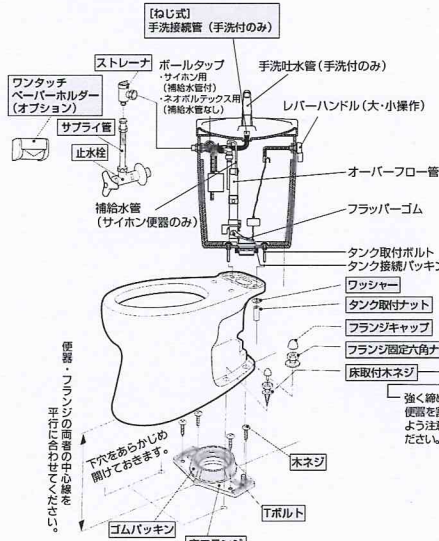
・フレキホース仕様

□の部品は現場にて取り付けとなります。



・サブライ管仕様

□の部品は現場にて取り付けとなります。



4 床フランジと便器の接続

- 塩ビ排水管の内周と床フランジ差込部外周 (ソケット使用の場合にはソケットの内・外周両面) に塩ビ接着剤を塗り、塩ビ排水管にしっかりと押し込んでください。
その際、必ず床フランジの突起部を便器の中心線に合わせてください。一度接着しますと手直しできませんのでご注意ください。



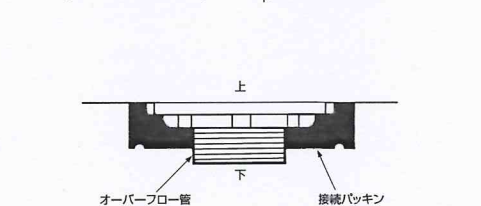
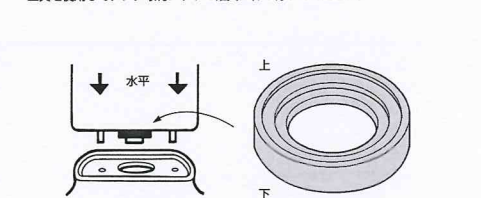
- 床フランジにTボルトをスライドさせて立て、床フランジを木ネジで固定してください。
- 床フランジの中央に差し込まれているゴムパッキンが確実に奥まで入っているか確認してください。
- 便器排水口周辺のゴミや水分を取り除き、便器をフランジに差し込んでください。
- フランジ固定六角ナットと床取付木ネジで締め付けて便器を床に固定してください。強く締めすぎて便器を割らないように注意してください。

ソケットの組み合わせ	
VP75排水管	ソケット不要
VU75排水管	(一番小さいソケット)
VP100排水管	(コの字ソケット)
VU100排水管	(コの字ソケット)
VU100排水管	(一番大きいソケット)

※ソケットの上下に注意してください。

5 タンクと便器の接続

- オーパーフロー管に接続パッキンが確実に奥まで入っていることを確認してください。
- 便器にタンクをのせてください。
- タンクは前後・左右平均に水平度をみながらタンク取付ボルトにワッシャーをはめ、工具を使用してタンク取付ナットで確実に締め付けてください。



6 ボールタップと止水栓の接続

■フレキホース仕様の場合

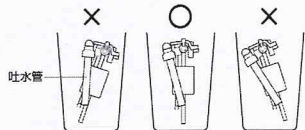
- ①フレキホースの袋ナットにパッキンを入れてください。(パッキンは、フレキホース接続部に向いています。)
- ②フレキホースにねじれ、折れがないように止水栓に接続してください。

■サブライ管仕様の場合

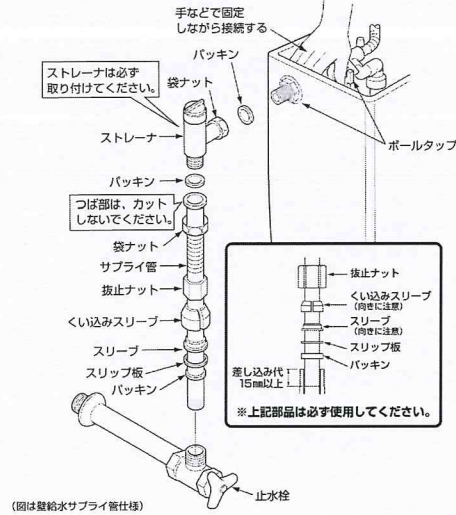
- 右図を参照して、以下の手順で接続してください。
- ①ボールタップを手などで固定しながらストレーナを接続してください。
 - ②サブライ管の長さ及び形状(曲げ)を調整してください。ストレーナに付いている袋ナットは、事前にサブライ管を通しておいてください。形状を調整した後では通らないことがあります。
 - ③サブライ管に部品(右図参照)を通して止水栓に差し込み、抜止ナットを仮締めしてください。サブライ管は15mm以上差し込んでください。差し込みが浅かったり、抜止ナットの締め付けがゆるいときサブライ管が抜けることがあります。
 - ④サブライ管をストレーナに接続し袋ナットを仮締めしてください。
 - ⑤抜止ナット及び袋ナットを本締めしてください。(締付トルクの目安=約1500N・cm)

【注意】

- ①ストレーナは必ず取り付けてください。ボールタップにゴミが入り止水不良や故障の原因となります。
- ②ボールタップとストレーナは樹脂製です。接続時に無理な力で締め付けしないでください。ねじ部の破損原因となります。
- ③ストレーナにサブライ管を接続した状態でサブライ管を曲げたりしないでください。ストレーナの破損原因となります。
- ④ボールタップと止水栓を接続したときボールタップが斜めにならないように気をつけてください。正常に働かなくなります。



※吐水管はあらかじめ垂直に対して15度傾いています。



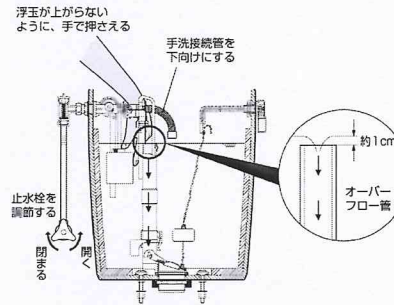
(図は壁給水サブライ管仕様)

7 止水栓流量の調節方法

本製品はボールタップからタンク内に入る流量を流量調整弁で自動的に調節していますが、以下の確認をしてください。

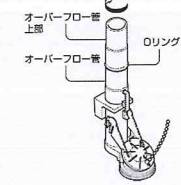
止水栓を開けすぎた場合、万一ボールタップが故障した時、タンクから水があふれ、床を濡らすことがあります。止水栓の開け具合を調整してください。

- ①止水栓を開けてタンクのフタを取ります。
- ②手洗接続管を図のように水が飛び散らないように下向けにします。(手洗付のみ)
- ③浮玉を手で押さえたまま止水栓を徐々に開けます。(水がオーバーフロー管よりあふれはじめます。)
- ④オーバーフロー管より1cm以上水位が上昇しないよう止水栓の開きを調節します。(時計方向に回すと流量量は減ります。)
- ⑤止水栓の開き具合の調節が終わったら、ボールタップの浮玉から手を放して、手洗接続管を元通りに手洗吐水管に接続してからタンクにフタをしてください。



※水压が0.1MPa以下の場合、手洗吐水管から水が出ないことがあります。「図ストレーナの清掃方法」を参照して、ストレーナパッキンを取りはずしてください。

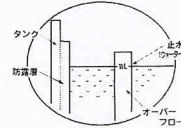
8 オーバーフロー管の確認



①オーバーフロー管上部が確実に締まっていることを確認し、また、Oリング部より便器へ水が流れていないことを確認してください。

②サイホン用の場合、補給水管がオーバーフロー管に止め金具で固定され、確実に差し込まれているか確認してください。

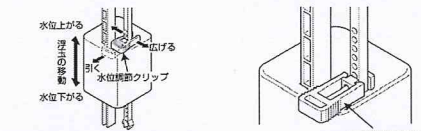
9 止水水位の確認



【止水水位の調節方法】

止水水位(ウォーターライン)は調節できますが、もし止水水位が合っていない場合は、次の要領で水位を調節してください。

- ①水位調節クリップを両脇から広げてあげてから手前へ引く。
- ②浮玉を上下に移動させて水位を調節する。

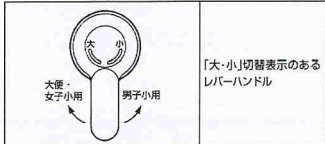


【注意】

水位調節クリップは全部引き抜かれません。無理に引き抜かないでください。

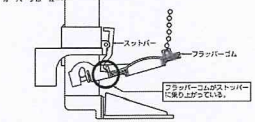
10 レバーハンドルの作動確認

下記の作動性を確認してください。レバーハンドルが正常に作動するか確認をしてください。

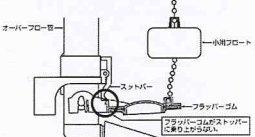


- ①レバーハンドルが「大」、「小」方向に作動すること。
- ②レバーハンドルが補給水管に干渉しないこと。
- ③レバーハンドルを「大」方向に回したときフラッパーゴムがオーバーフロー管のストッパーに乗り上げて、タンク内の洗浄水が(残水を除いて)全部排出されること。
- ④レバーハンドルを「小」方向に回したときフラッパーゴムがオーバーフロー管のストッパーに乗り上げず、小用フロートの上部までタンク内の洗浄水が排出されること。

【大洗浄の場合】



【小洗浄の場合】



【注意】

- ①レバーハンドルを「小」方向に強く回すと、小洗浄が大洗浄になることがあります。
- ②ハンドルの操作は、最後までゆっくりと確実にこなしてください。

11 手洗接続管と手洗吐水管の接続 (手洗付のみ)

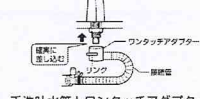
【ねじ式】 サブライ管仕様

左図のようにおまわして回転させながら最後まで確実に接続をしてください。



【ワンタッチ式】 フレキホース仕様

ワンタッチアダプターをカチッ音がするまで確実に差し込んでください。水漏れの原因になります。



手洗吐水管とワンタッチアダプターを取り付ける時は、リングを装着した状態で奥まで確実に差し込んでください。

接続管を無理な方向に曲げないでください。
亀裂や水もれの原因となります。

12 取り付け完了後の作動確認

①止水栓を開いて通水し、各部からの水漏れがないか、割れ穴がないか確認してください。

②2回ないし3回レバーハンドルを操作して正常にフラッパーゴムが動作しているか確認してください。「図レバーハンドルの作動確認」を参照してください。

便器の洗浄性能の良否は長さ76cmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が1回の洗浄(「大」の場合)で排出できるかどうかで確認してください。

③水压が0.1MPa以下の場合、手洗吐水管から水が出ないことがあります。「図ストレーナの清掃方法」を参照して、ストレーナパッキンを取りはずしてください。

④「取扱説明書」・「施工説明書」を施主さまにお渡ください。また、お客さまに取扱方法を説明してください。

⑤凍結の恐れがある入居までに凍結防止対策がされない場合は器具の水抜きをおこなうなどの対策をおこなってください。

13 ストレーナの清掃方法

ゴミが詰まるとボールタップの吐水勢が減少し、手洗吐水管から水が出なくなったりします。

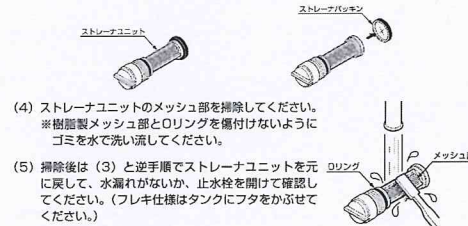
- (1) 止水栓を開けてから、タンク内の水を流してください。(確実に水が止まっていることを確認してください。)

- (2) タンクのフタをずらしてください。(フレキホース仕様のみ)

- ①フレキホース仕様はタンクの内部にストレーナがあります。
- ②タンクのフタをストレーナが見えるように約10cm右側にずらしてください。
- ③手洗付の場合、手洗吐水管とボールタップが手洗接続管で連結されていますので注意してください。

- (3) ストレーナユニットを取りはずしてください。

- ①ストレーナの上部ツマミを反時計方向に回してははずします。(かたい場合はペンチなどを使用して回してください。)
- ②ストレーナユニットを引き抜きます。③ストレーナパッキンを取りはずします。



- (4) ストレーナユニットのメッシュ部を掃除してください。※樹脂製メッシュ部とOリングを傷つけないようにゴミを水で洗い流してください。

- (5) 掃除後は(3)と逆手順でストレーナユニットを元に戻して、水漏れがないか、止水栓を開けて確認してください。(フレキ仕様はタンクにフタをかぶせてください。)

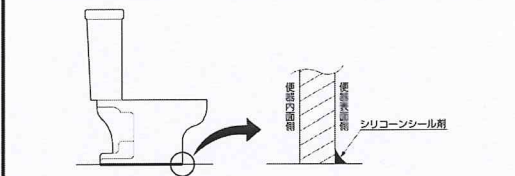
14 本製品のご使用にあたって

①本製品は、一般地用・寒冷地用共通仕様になっております。凍結のおそれがある寒冷地では寒さに応じた凍結防止対策を施してください。使用方法は取扱説明書を参照してください。また、便器にはヒーター付もあります。(便器用ヒーターは20.5Wです。)

②異物やミネラル分を多く含む水を使用した場合、ボールタップの止水不良を起こす原因となりますので注意してください。

③防汚仕様(便器の洗浄面に汚れが付着しにくい表面処理をしています。)の場合、汚れのふき取りは住宅用中性洗剤などを含ませた軟らかい布やスポンジでおこなってください。

④便器の排水穴出口に切り残しのような跡がありますが、便器性能を維持させるためのものです。



⑤便器設置部と床の隙間に便器から飛び出した小便やお掃除のとき床に落ちた洗剤・水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器設置部周囲にシリコンシーリング剤を塗布し小便や水の侵入を防止することを必ずおこなってください。